

活力あふれる農村地域の発展事例から学ぶ
— 土地改良事業の実施地区から —

令和4年3月
農林水産省

【対策のポイント】

- 区画整理により、ほ場の大区画化や道路が整備されたことで機械の大型化が進み**農作業の効率化**を実現。
- 畑地かんがいの整備によりかん水が可能となり、**高収益作物の品質向上**や**収量増等の生産性向上**を実現。
- 基盤整備により、**高収益作物を中心とした営農体系への転換**を促進。

【取組地区の概要】

○位置

うんぜんし
 長崎県雲仙市

やまだばらだいに
 山田原第2地区



○事業名

畑地帯総合整備事業(H24~R3)

○主要作物

ブロッコリー、ばれいしょ

○受益面積 55.4ha

○主要工事

区画整理 A=55.3ha

畑地かんがいA=55.4ha

区画整理とかんがい施設の整備

- 現況ほ場が狭小、不整形で道路も未整備であり、**大型農業機械の導入ができず**、担い手農家の**経営規模拡大が停滞**。
- 区画整理及び畑地かんがい施設の整備により、**大型農業機械の導入が可能**となり、**省力化**や**生産コストの低減**が図られ、**収益性の高い作物への転換**が実現。また、営農効率の向上により担い手への**農地集積が進み規模拡大が実現**。



基盤整備

(H24~R3)



ブロッコリーの販路拡大に向けて

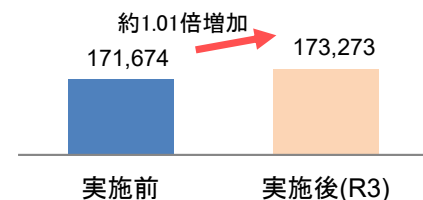
- 低温流通施設での氷詰めによる品質(鮮度)を保持した出荷を通じて関西及び関東等へ**販路を拡大**。
- 規模拡大、高品質、長期安定出荷を実現し、**令和元年天皇杯(園芸部門)受賞**。



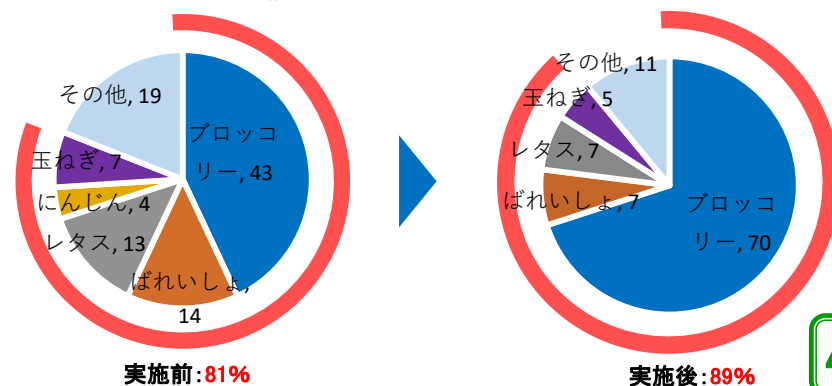
高収益作物の作付け拡大

- 作物生産額に占める高収益作物の割合は**96%**。
- 基盤整備の進捗と共にブロッコリーの生産量が増加し**一大産地を形成**。

高収益作物の生産額の推移



作付面積に占める高収益作物の割合



地域の取組

対策の効果